



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年9月6日（火）



今朝は、月に一度のお話朝会の日です。今月20日は開校記念日なので、歴代校長が書き記してきた学校沿革史を紐解き、開校当初の西小の様子を振り返りました。

本校は、昭和44年4月1日に開校し、校名は上福岡市立第5小学校でした。児童数1282名、学級数32、教職員数40名でスタートしました。今と比べるとかなり大きな規模の学校でした。しかし、当時は、1000人以上の児童数は、それほど珍しいことではなかったと思います。第2次ベビーブームの真っただ中でした。ちなみに、本校に最も多くの児童が在籍していたのは、昭和47年です。1478名の児童が在籍していました。

実は、開校時にはまだ校舎が完成していませんでした。そのため、上福岡市立第2小学校に間借りさせてもらっていました。校舎が完成したのは、同年9月です。そのことから、開校記念日が9月なのです。開校当時の古い航空写真子供たちに見せました。今とはだいぶ様子が違ってきます。新校舎がありません。体育館もプールもありません。遊具もありません。メタセコイアをはじめ、サクラやヒマラヤスギもありません。学校沿革史を見ると、昭和47年にプールが完成し、昭和48年に体育館が完成しました。体育館よりプールが先というのも興味深いです。子供たちに大人気のメタセコイアは、昭和53年の開校10周年記念の際に、PTAによって植樹されたと記録されています。今では、校舎よりも高く生長し、大きく太い根元は、子供たちの遊び場であり憩いの場です。西小のシンボルは、40年以上の間子供たちを見守り包みこんできたこととなります。保護者の皆様の惜しみない子供たちへの愛情が、メタセコイアの生長と重なり、感慨もひとしおです。

時代の流れとともに、校名も変わりました。平成14年に上福岡市立西小学校に、平成17年にふじみ野市立西小学校に改称されました。本校の卒業生は、53年間で5951名です。多くの先輩が本校を卒業して中学校へ進学し、そして社会へ羽ばたいていきました。

お話朝会では、私から子供たちに3つお願いしました。

- ・西小があることに感謝しましょう。
- ・西小をもっと好きになりましょう。
- ・西小を大切にしましょう。

西小がいつまでも地域の誇りとなるよう、伝統の継承と新たな時代の創造を目指し教育活動を継続していきます。

